

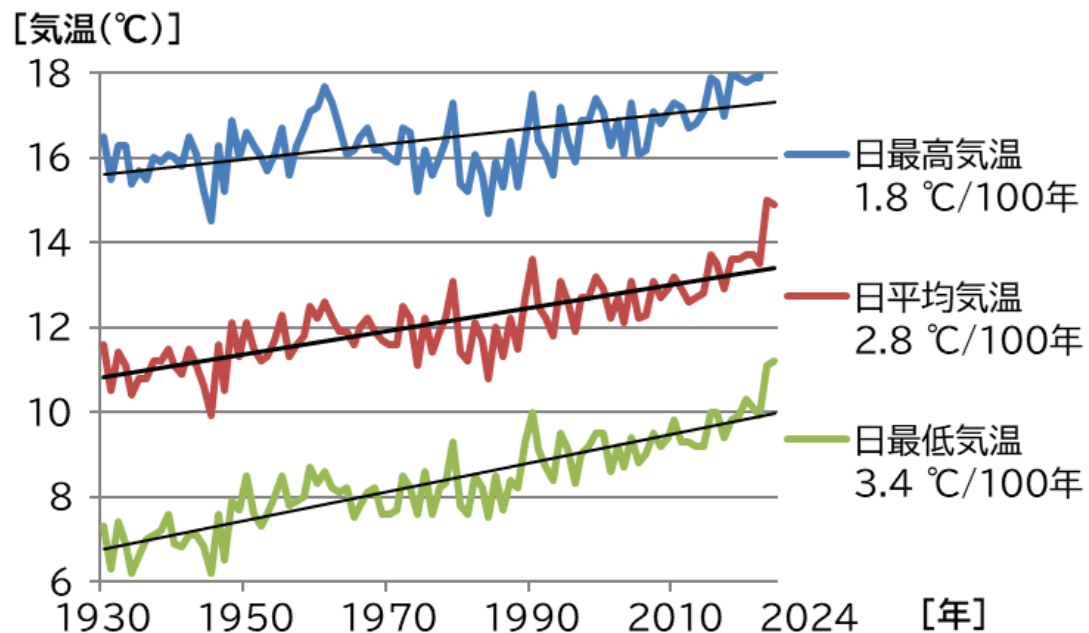
仙台市の現況と ゼロカーボン実現目標について

令和 8 年10月18日
仙台市環境局 脱炭素政策課





日最高気温、日平均気温、日最低気温
ともに上昇傾向

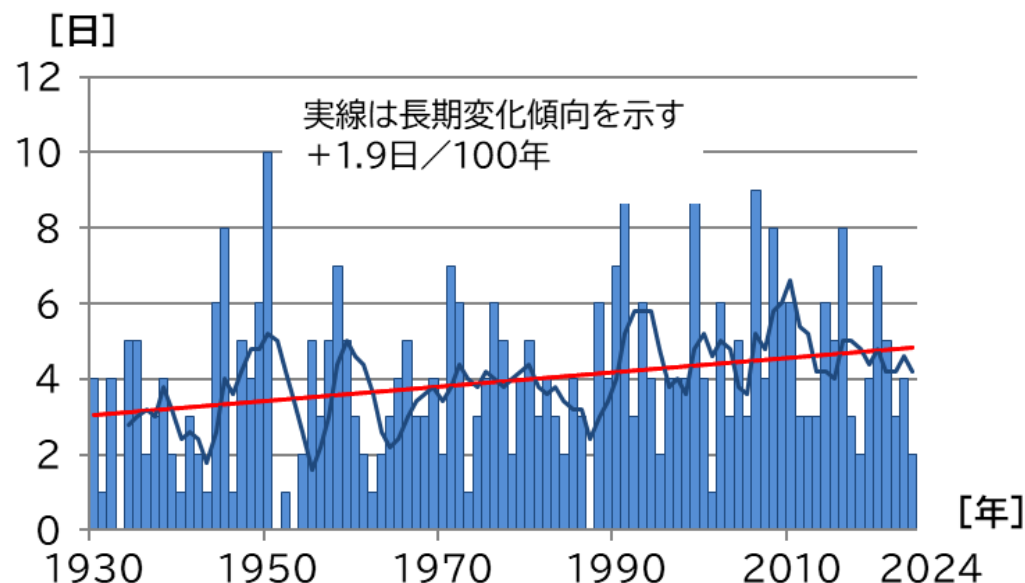


出典：仙台管区気象台データを加工

仙台市の年間平均気温の推移



大雨日数（日降水量50ミリ以上）
増加傾向

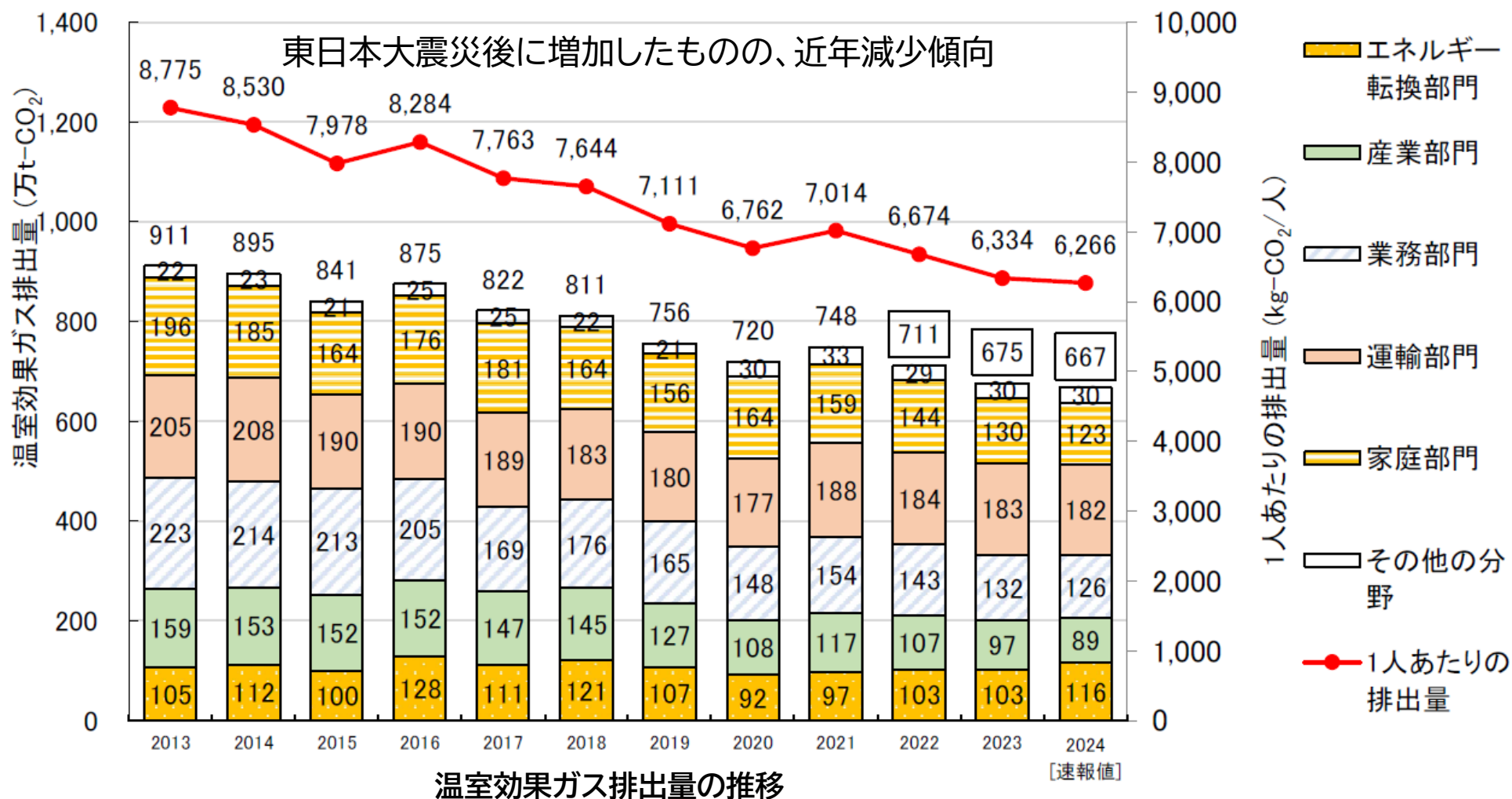


出典：仙台管区気象台データを加工

日降水量50ミリ以上の年間日数の推移

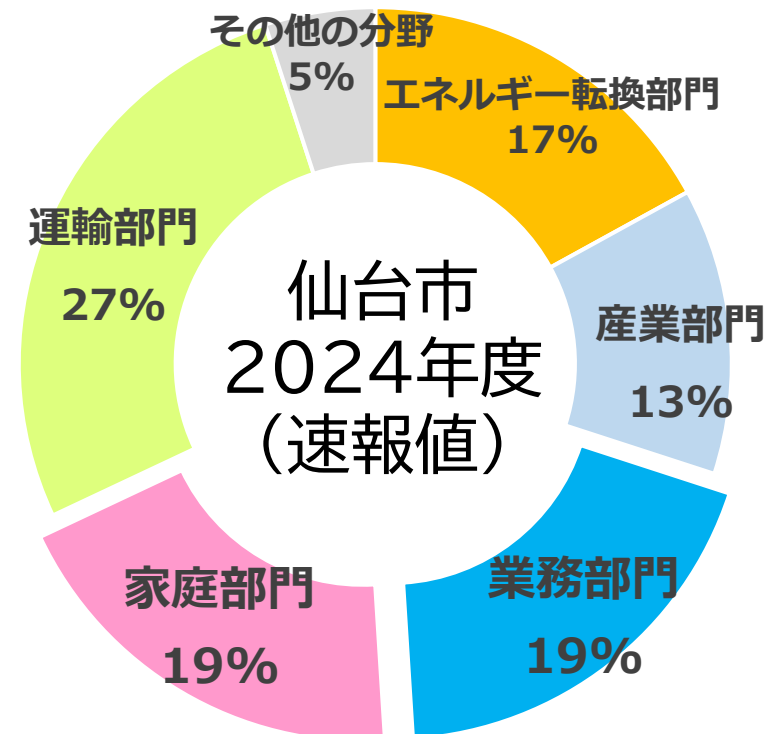
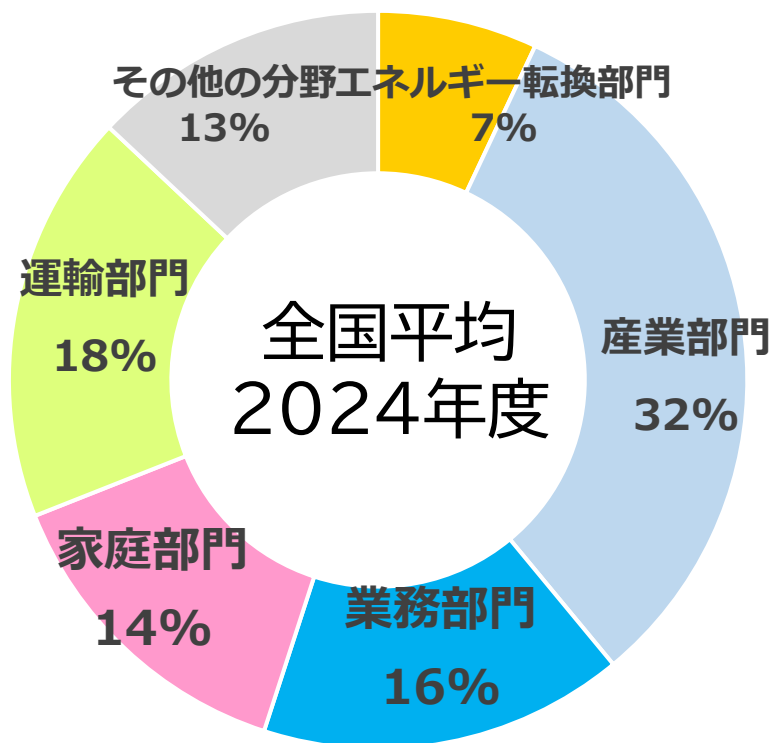
→ 今後追加的な対策を取らなかった場合、宮城県の年平均気温は**これまでの変化よりもはるかに大きく上昇**

温室効果ガス排出量の現況



温室効果ガス排出量の現況

- ・全国平均と比較すると、産業部門での排出量が少ない
- ・一方、運輸部門や、家庭・業務部門などの建築物からの排出量が多い



2021年3月

ゼロカーボンシティ宣言

2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロ(ゼロカーボン)を目指すことを宣言。

仙台市地球温暖化対策推進計画

「仙台市地球温暖化対策等の推進に関する条例」に掲げる基本理念や、
「仙台市環境基本計画(杜の都環境プラン)」に掲げる分野別施策のひとつ、
「脱炭素都市づくり」の実現に向けた個別計画

・2021年～2030年の10年間でどのような地球温暖化対策に取り組むかを定めている

→国の動きに伴い、令和6年3月一部改定

令和8年度、中間評価を踏まえて計画の一部見直しを実施、改訂



脱炭素社会の実現に向け、①温室効果ガス排出削減、②再生可能エネルギー普及促進の取り組みを加速することを今後の方向性の1つとした。

温室効果ガスの削減目標

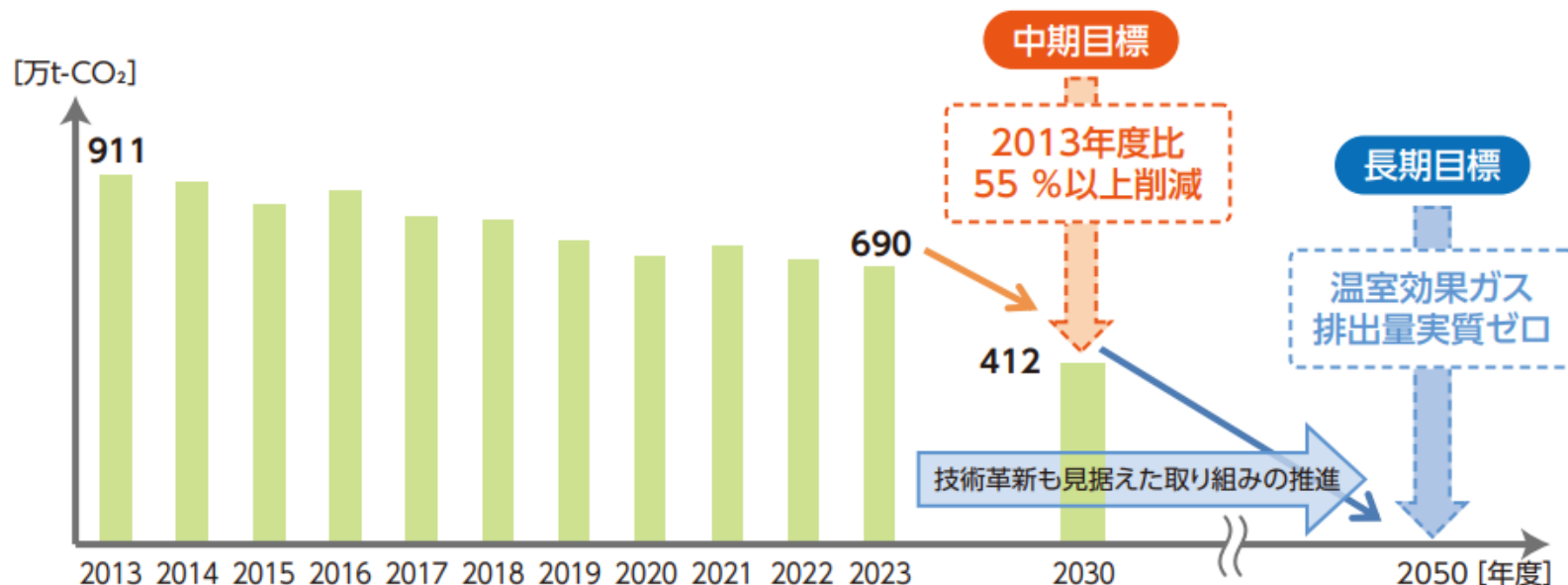
中期目標

2030年度における排出量を2013年度比で**55%以上削減**(森林等の吸収量含む)

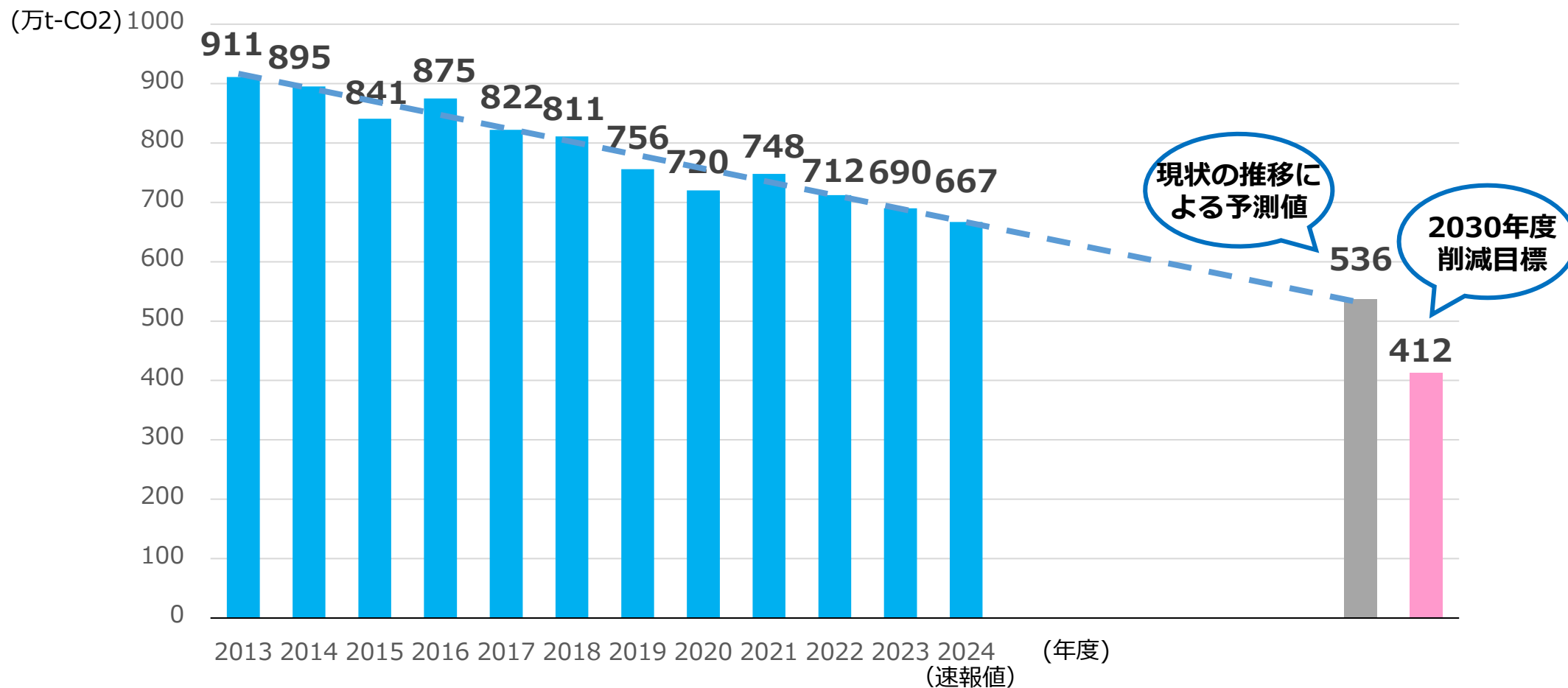
長期目標

2050年度における排出量実質ゼロ＝**ゼロカーボンシティの実現**

国を上回る
削減目標！

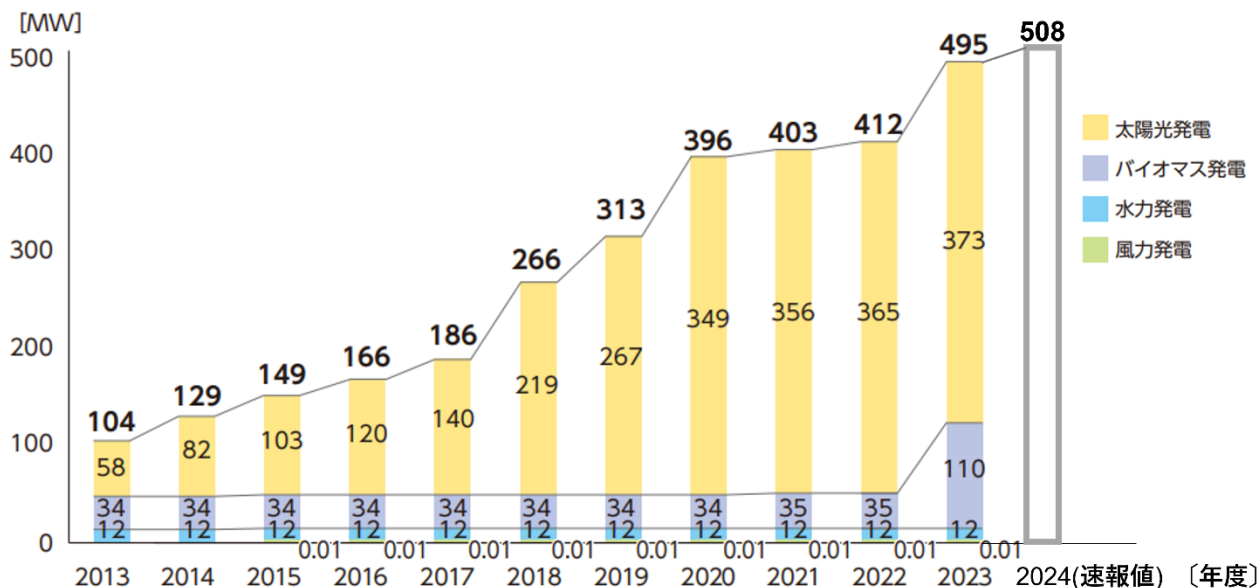


現状のまま推移すると…



目標達成に向け、取り組みをさらに加速させる必要性がある

再生可能エネルギーの導入目標

2030年度までに**805MW(メガワット)**を導入(2024年度は508MW)バイオマス発電

木質バイオマス発電設備の稼働により大きく増加

水力発電

近年は横ばい(配水所、沈砂池の小水力発電設備)

風力発電

自然環境・地理的特質を踏まえると導入困難

地熱発電

有力な地熱資源が確認されておらず導入困難



導入目標達成に向け、建築物への
太陽光発電の導入を加速させる必要がある